第１号様式（第５条関係）

令和５年４月２４日

広　陵　町　長　　殿

申請者　協議会所在地　　広陵町馬見南２丁目１３−１
西谷公園管理事務所内
協　議　会　名　　真美一まちづくり協議会
代表者氏名　　会長　　東　　秀　行

広陵町まちづくり協議会運営補助金交付申請書

令和５年度広陵町まちづくり協議会運営補助金の交付を受けたいので、広陵町まちづくり協議会運営補助金交付要綱第５条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

１　補助対象経費　　５００，０００円

２　交付申請額　　５００，０００円

添付資料
(1) 事業計画書（第２号様式）
(2) 事業収支予算書（第３号様式）
(3) その他

第２号様式（第５条関係）

事　業　計　画　書

協　議　会　名	真美一まちづくり協議会
交 付 申 請 額	500,000 円（補助対象経費：　500,000 円）
事 業 の 目 的	真美ケ丘第一小学校区の地域づくり

事 業 の 概 要	（実施の場所、時期、内容、対象者、参加予定人数等） 1. 真美ケ丘第一小学校区において、校区の地域住民、団体等の会員を対象とした地域づくりの取り組みを、まちづくり協議会を構成する自治会、各種団体が連携・協力し、会員の参加を得て実施する 2. 取り組み実施にあたっては、自治会、各種団体間で適切に役割を分担する。また、広陵町の関係部署との連携、協働を図る 3. 定期的な会合を自治会等の地域の団体やボランティアの代表による代議員３３名にて２カ月毎に行い、地域の現状や課題を地域住民の視点で検討し、地域一体となって課題解決に向けて取り組む 4. 地域住民の要望が多様化・高度化する中で、まちづくり協議会による住民と町の「協働」によって意見をまとめながら、地域課題を効果的に解決していく 5. 防災・防犯・環境部会事業 （１）防災活動（真美一校区合同自主防災会として活動） ① 真美一校区での地区防災計画の作成支援 ② 真美一校区自主防災合同訓練の実施 ③ 平日の小学校との防災合同訓練の実施を検討 ④ 指定避難所マニュアルの改定 （２）防犯活動 ① 犯罪抑止効果が見込める防犯カメラの設置の推進

	② 通学路の安全点検と見直し、立哨場所の追加 ③ 通学路、立哨者の安全対策を警察署へ要望 ④ 交通危険個所への「飛び出しくん」の設置 ⑤ 交通安全講座・防犯訓練講座の開催 （3）環境活動 ① 真美一校区美化運動日を設定。一斉美化運動実施 ② 花いっぱい運動を自治会、各部会と連携して推進 ③ 小学校下校時の見回りとゴミ拾いを継続して推進 6. 健康福祉部会事業 （1）協議会への「ニーズ調査」を実施 （2）部会活動内容に関する情報を「部会だより」で発信 （3）絆づくり事業 地域のサロン活動などの団体の交流会を計画 （4）健康づくり事業 ① 地域での健康講座（認知症講座など）開催を支援 ② ニュースポーツ（軽スポーツ）の紹介 （5）生きがいづくり事業 ① 地域サークル活動を発表できる地域文化祭の開催 ② 高齢者のニーズが見込まれるパソコン教室の開催 （6）支え合いづくり事業 ① 「地域助け合い活動」を広めるための講師を招いた勉強会や、ボランティアグループの立ち上げ支援を計画 ② デジタル技術を利用した見守り活動、地域資源を活用した有償の福祉輸送の可能性を検討 7．青少年育成部会事業 （1）小学校及び幼稚園、学校ボランティアとの連携による学習支援 （2）学校ボランティアとの連携で、小学校及び幼稚園にて、昔遊びや課外事業への補助 （3）学校ボランティアとの連携で、校庭等の植栽管理、花壇整備、植栽補助を実施 （4）子どもが地域住民と顔見知りになり、地域住民の外出やつながりのきっかけになる事業の実施

	（５）西谷公園の花壇整備、整備と子供たちに参加してもらう取り組み （６）時代に即した有効な講演会等を開催 ８．学校ボランティア事業 （１）ボランティアだより」の作成と配布 （２）小学校、幼稚園、青少年育成部会との連携により支援の幅を拡大 （３）新たなボランティアメンバーの勧誘 ９．真美ヶ丘第一小学校学校運営協議会事業 （１）学校運営協議会開催日を年間４回に増やし、協議を充実（４月、７月、１２月、２月） （２）子供たちに関わる関係者の課題や情報を共有する「ひまわり連絡会」を夏季、冬季の間に開催 （３）本校創立 40 周年の記念行事の準備と開催 （４）自主防災合同会議、防災・防犯・環境部会と連携した小学校の防災体制の見直し 10．協議会本部事業 （１）地域住民への事業周知のための会報等の情報発信 （２）西谷公園の園内管理、管理事務所の管理、環境整備事業の実施 （３）パーゴラ、ベンチの補修 （４）地域の公園の実情を把握し、課題抽出と改善提案 （５）空き家、空き地の所有者と地域との交流を継続 （６）畿央大学との協業を継続し、公園ベンチの増設、飛び出しくんを作成 （７）安定的、持続的事業推進のためのＮＰＯなどの法人化を検討
期待される効果	1. 南海トラフ大地震に備えた真美一校区の防災対応力の強化 2. 犯罪が起こりにくい、犯罪を生まない、交通事故がないまちの実現 3. 明るく綺麗なまちの実現 4. 自らが積極的に健康づくりに取り組む活動の支援と推

	進による健康寿命の延伸 5. 高齢者や子どもたちがいつまでも自分らしく安心して過ごせるまちの実現 6. 地域環境整備による、明るく綺麗なまちの実現 7. 地域のサロン活動の調査や情報提供による団体間の交流の促進 8. 社会貢献、文化伝承、生涯学習面の活動による生きがいの発掘 9. 地域の助け合い、支え合いづくりの活動による、声かけ、見守りができる環境の実現 10. 地域に開かれた小学校及び幼稚園の実現 11. 学習支援や研修会、昔遊びや課外授業への補助による教員や保護者の負担の軽減 12. 子どもたちと地域とのふれあいによる地域の青少年の健全な育成 13. 子どもたちと大人とのつながりを深めることによる地域住民の活性化 14. 地域の環境整備や、子どもたちが参加する取り組みにより子どもたちの情操を育成 15. 協議会活動による地域団体間の連携と信頼の強化 16. 協議会事業全般の情報発信、周知による、地域住民の連帯意識の強化
その他特記事項	1. 課題解決のための地域づくりの取り組み方法を段階的に行う 2. 将来の地域づくりのため、毎年の取り組みの評価を行い、次年度の取り組みへ反映する 3. まちづくり協議会は、組織化によって会員（地域住民、団体等）に強制的な活動を要請することはない

第３号様式（第５条関係）

令和5年度　事業収支予算表

（収入の部）　　（単位：円）

区　　分			年度予算	内訳・特記など
収入	当年度	助成金	500,000	広陵町助成金
		内訳 まちづくり協議会助成金	500,000	
収入合計			500,000	

（支出の部）　　（単位：円）

区　　分			年度予算	内訳・特記など
事務局			200,000	
内訳	会議開催費		50,000	部会会議費、資料作成費
	会報発行費		100,000	活動報告、総会議案書（R6）
	備品費		50,000	資料配布費、事務備品
1．防災・防犯・環境部会			100,000	
内訳	総務費		50,000	調査費
	防災費			防災訓練
	防犯事業費		50,000	飛び出し防止看板設置
	登校立哨費			活動周知
	真美一校区一斉清掃費			4回/年の清掃に伴う活動支援
2．健康・福祉部会			110,000	
内訳	総務費		110,000	会議費、資料作成費
	絆づくり事業			班会議費、資料作成費
	健康づくり事業			班会議費、KEEP派遣、講師派遣
	生きがいづくり事業			班会議費、会場費、イベント費
	支え合いづくり事業			班会議費、資料作成費
3．青少年育成部会			90,000	
内訳	学校支援事業（授業補助）			課外活動付き添い時の食事代（10名）
	学校支援事業（主催事業）			
	講演会費		50,000	
	校庭植栽管理費		20,000	除草、植栽時の飲料費、軍手配布費
	イベント費			
	西谷公園植栽管理		20,000	公園の北西、南西の花壇管理 （苗、肥料・資材購入費）
支出合計			500,000	

令和５年度
まちづくり協議会総会　報告

◆ 日時　令和５年４月１６日　日曜日　9時～11時
◆ 会場　西谷公園管理事務所内　会議室
◆ 成立　真美ーまちづくり協議会総会は、代議員３３名のうち、
出席２７名、委任５人の計３２人の出席で成立しました。
◆ 真美ーまちづくり議会の議案が総会において承認されました。
議長　真美ケ丘第一小学校　谷口　亜由紀 校長
書記　馬見南３丁目自治会長　森本　吉胤 会長
① 令和５年度代議員、役員
② 令和４年度活動報告
３部会、学校運営協議会、学校ボランティア、協議会本部
③ 令和４年度　決算報告
④ 令和５年度活動計画
３部会、学校運営協議会、学校ボランティア、協議会本部
⑤ 令和５年度事業予算
⑥ 協議会規約の一部変更（協議会所在地の変更）
◆ ご来賓　広陵町 / 山村町長、植村教育長、栗山地域振興部長

会長	東　秀行	（南２丁目）
副会長	吉野　武利	（南４丁目）
副会長	藤田　和郎	（南５丁目）
副会長	永井　康雄	（南１丁目）
事務局長	岩崎　恒夫	（南３丁目）
事務局次長	小田　雅代	（南４丁目）
会計	堀田　沙織	（南２丁目）
監事	箴部　牧	（南4丁目）
監事	辰巳　展崇	（ 小学校 ）

裏面に、会長、町長、教育長の挨拶を載せています。議案は自治会にて３月末に議案書を回覧しています。議案書は若干の手持ちがありますので、ご希望があれば自治会等へご連絡ください。



受付にて



議案の審議

お祝い会　11時～12時



くす玉　パッカーン



永井青年部会長

協議会では、地域の団体や個人だけでは解決しない課題に対し、団体として結集し大きな力を発揮して取り組むことで、よりよいまちづくりを目指しています。
今年度は管理事務所西側のスペースに憩いの場を設け、ベンチ・テーブルを作成し、花や木々を植える計画です。子供たちにも花の世話や掃除の手伝いをしてもらい、公共施設を大切にするという心を養いたいと考えています。



地域振興部内の協働のまちづくり推進課メンバーが、まちづくり協議会に参加し、地域と町との橋渡しを行ってきました。
まだ、町としての取り組みが遅れておりますが、真美ーまちづくり協議会とともに地域づくりに歩んでまいります。
本日は、1周年のお祝いということで、お子さんたちも多く集まっておられますので、皆で楽しくお祝いしたいと思います。

栗山地域振興部長

元木代議員の手品、前田代議員進行のビンゴゲームを行いました。
親子連れなど50名ほどが、代議員、ボランティア、来賓の皆さんとともに楽しんでおられました。





令和５年４月

まちづくり協議会総会にて

東会長

- 協議会は１年を経過したところですが、皆さんのご協力、ご支援により事業活動が活発になってまいりました。パーゴラの設営では、代議員やボランティアの皆さんに多大な協力をいただき、無事に事故なく完成することができました。お陰でずいぶん活気のある公園となったと感じています。事業の一つとして、これからも引き続き、西谷公園が老若男女を問わず「憩いの場所」「居心地の良い場所」となるようにしてまいります。
- 住民の安全安心、心豊かな暮し、人とのつながりを実現するために、地域の絆を大切にする取り組みを協議会で続けてまいります。当協議会の基本理念は「できるときに、できる人が、できることを」です。さまざまな団体、世代が地域づくりに気軽に関わってもらえるような取り組みを続けたいと考えておりますので、今年度もご支援、ご協力をよろしくお願いします。

山村町長

- 町は自治基本条例を施行し、地域の自治と行政との協働を謳っておりますが、この校区では、条例の施行前から自主的に住民自治の機運を高め、地域でまちづくりを進められており、今の真美一まちづくり協議会になっています。他の校区では、まだ協議会の機運さえない中で、この真美一校区のまちづくり協議会は町のモデルとなっています。事業活動では、地域活性化や、小学校支援などに取り組まれているので、これからも、地域の安全安心と地域づくりを担っていただきたく思います。
- 本日、総会を開催されているこの事務所は、建て替えこそかないませんでしたが、改装しまして、それなりに綺麗になったのではないでしょうか。ただ、国の公園事業の補助金を使用しているため看板は西谷公園管理事務所ではありますが、まちづくり協議会で充分に活用してもらいたいと考えております。また、西谷公園は防災公園としての一面もあり、管理事務所も含めその方向での活用も、町とともに検討してまいりましょう。



植村教育長

- 令和１年の連絡会の立ち上げと並行して、真美ケ丘第一小学校のコミュニティスクールが発足し、学校運営業議会のメンバーは連絡会の運営委員が中心となって、その後、連絡会とともにコミュニティスクールを進めていただきました。令和３年度に全小中学校にようやくコミュニティスクールが立ち上がりましたが、真美一校区の取り組みがモデルになったと強く感じております。
- まちづくり協議会におかれましては、小学校に対して防犯面、安全面、学習支援面でご尽力いただいております。加えて、地域の方と子供たちのふれあいが進むことも大事であり、ふれあいには地域住民の支援が何より重要と考えているので引き続きよろしくお願いいたします。

真美一まちづくり協議会へのお問合せ

校区の自治会長、民生児童委員、真美ケ丘第一小学校長、真美ケ丘第一小学校附属幼稚園長、小学校PTA会長、幼稚園PTA会長、老人クラブ連合会、自主防災会会長（馬見南１丁目、馬見南２丁目、馬見南５丁目、馬見第一団地）、広陵町（協働のまちづくり推進課）

真美一まちづくり協議会メールアドレス　m1.machikyo@mamail.jp